

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	情報社会学 (Information Processing I)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	矢野 宏彦
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間 I 部			(単位)	(2)	曜日・時限	金 2限 PCルーム

【授業の学習内容】

- ・もっとも普及しているビジネス文書作成用アプリケーションソフトの「Microsoft Office」のうち、PowerPointでは、スライドの作成方法とプレゼンテーションの効果的な実施の仕方を身につけます。
- ・Word、Excelを使い、ビジネス文書の作成方法やデータ処理の基本を身につけます。

【到達目標】

- ・PowerPoint
スライドの作成方法、プレゼンテーションの見せ方を身につける。
- ・Word
簡単なビジネス文書の作成を身につける。
- ・Excel
表、グラフの作成とデータベースとしての機能を身につける。

授業計画・内容

1回目	プレゼンテーションを始めることができる。
2回目	PPを使ったスライドを準備することができる。
3回目	PPを使ったスライドを準備することができる。
4回目	プレゼンテーションを実施することができる。
5回目	ワードによるビジネス文書を使用することができる。
6回目	ワード文書への図形の挿入を実施することができる。
7回目	ワード文書に便利な機能を使用することができる。
8回目	エクセルの基本を始めることができる。
9回目	表の編集と絶対参照を使用することができる。
10回目	グラフの作成と編集を使用することができる。
11回目	エクセルの関数1を使用することができる。
12回目	エクセルの関数2を使用することができる。
13回目	エクセルの便利な機能を使用することができる。
14回目	ワードとエクセルの連携を使用することができる。
15回目	総復習し試験準備をすることができる。
16回目	試験

**準備学習
時間外学習** 30時間アカデミック Word&Excelおよび、講義にて配布した資料を用いてWord、Excel、PPが使用できるように練習してください。PCは使用しないと上達しません。

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	コンピューターの基本的な操作方法を学び、ワード・エクセルなどのソフトウェアの使用方法を習得します。
-------------	---	---	---

受講生へのメッセージ 世はまさに情報化社会である。何を行うにもパソコンの関与は欠かせなくなっている。Office Soft は必須のアイテムであり、個々のソフトウェアの使い方を習得してもらうとともに、それぞれのソフトウェア間の連携も学習してもらいます。

【使用教科書・教材・参考書】
 30時間アカデミック Word&Excel 2019年度 実教出版株式会社

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	心理学 (Psychology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	山田 明彦
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間 I 部			(単位)	(2)	曜日・時限	火曜 4限

【授業の学習内容】

- ・心理学は対人援助をする上での基本的な対応やコミュニケーションにおいて基盤となる知識を理解するための学問である。
- ・本授業では、各種心理療法や心理学者の理論を学び人の心をどのような風に説明できるかを考えていきます。また、今までの心理学実験から得られたエビデンスに基づいた人間行動科学も説明できるようになる。
- ・心理テストを通して人の心の動きを学び、相手を理解する。

【到達目標】

心理学の基本的な知識と方法論を修得する。対人援助職ならではのコミュニケーションについて学び、患者との関わりをグループワーク形式で学ぶ。

<具体的な目標>

- 目標①力動系・行動系の心理療法を説明できる。
- 目標②対人援助特有のコミュニケーションを説明できる。

授業計画・内容

1回目	「無意識」と「自我」について説明できる。	
2回目	各種防衛機制の意味について説明できる。	
3回目	フロイトが創始した精神分析について説明できる。	
4回目	ユングが創始した分析心理学について説明できる。	
5回目	アドラーとフランクルの創始した心理療法について説明できる。	
6回目	ロジャーズが創始した来談者中心療法について説明できる。	
7回目	古典的条件付け等の学習理論とその応用である行動療法について説明できる。	
8回目	心理テストを用いて人の物の見方や考え方について説明できる。	
9回目	心理テストを用いて日本独自の心理療法などについて説明できる。	
10回目	カウンセリングの意義や普遍的な技法や効果について説明できる。	
11回目	人の記憶の能力について説明できる。	
12回目	人の記憶の能力について説明できる。	
13回目	あらゆる人格論について説明できる。	
14回目	傾聴・対人援助について説明できる。	
15回目	1～14回の総復習し試験準備をすることができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	単元が進むと復習テストを行うので、その際の復習は必要です。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</small>	心理学の基礎を学び、心理テストなどを通してヒトへの関心や理解を深めます。
受講生へのメッセージ	心理学の知識は対人援助職をする上で理解していると便利なおことが多く、きっと現場に出た時に役に立つと考えています。	

【使用教科書・教材・参考書】

心とかかわる臨床心理 基礎・実際・方法 第3版

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	教養演習(cultural subject)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前・後期
コース	昼間部(I部)			(単位)	2	曜日・時限	

【授業の学習内容】

理学療法士として必要な一般教養や医学に関する用語、ヒトの体に関する用語、リハビリテーションに関する用語、国家試験によく出る用語を習得する。また医療人、社会人としての心構えを学ぶ。理学療法実習にむけて表現力や説明力を養うために文章構成などの基本を学びます。

【業績】1990年4月総合病院勤務後、在宅まで急性期から維持期生活期まで理学療法士として携わる。

【到達目標】

一般教養や医学に関する用語を記載することができる。医療人、社会人としての基本的な心構えを理解する。患者様、家族、医療スタッフとのコミュニケーションや表現力を身に付ける。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション	
2回目	コミュニケーションの重要性を理解することができる	
3回目	一般教養や医学に関する用語を記載することができる。	
4回目	一般教養や医学に関する用語を記載することができる。	
5回目	ヒトの体に関する用語を記載することができる。	
6回目	ヒトの体に関する用語を記載することができる。	
7回目	リハビリテーションに関する用語を記載することができる。	
8回目	リハビリテーションに関する用語を記載することができる。	
9回目	医学用語を使って相手に説明することが出来る	
10回目	医学用語を使って相手に説明することが出来る	
11回目	医学用語を使って相手に説明することが出来る	
12回目	演習: 医学用語を使って相手に説明することが出来る	
13回目	演習: 医学用語を使って相手に説明することが出来る	
14回目	演習: 医学用語を使って相手に説明することが出来る	
15回目	まとめ	
準備学習 時間外学習	復習として配布資料をまとめる	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート提出 70(%) 4. 課題成果 30(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	自分が実習、臨床に出た時を考え社会人としての振る舞いや、医療人としての心構えを意識してください	
【使用教科書・教材・参考書】	配布資料	

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	自然科学 (Natural Science)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	串田 三九二・増尾 明
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間 I 部	授業形態	講義	(単位)	(2)	曜日・時限	火曜・1限、 木曜・2限

<p>【授業の学習内容】</p> <p>【生物学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の自己調節性(刺激に対して反応し、恒常性を維持する)について展開する。 ・体液の恒常性と血液の働き、免疫機構、自律神経系と内分泌系(ホルモン)による調節などについて述べます。 ※実務者経験: 1975年高等教育免許を取得し高等学校教員として勤務、2013年までの37年間にわたり教育に携わる。 <p>【物理学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の基盤を形成する物理学の手法と論理の特徴を知り、多様な自然現象の中に存在する法則性を理解する基礎を身につける。 ・計算力を身に付け、物理の諸法則を理解することによって、今後の発展学習の基礎を身につける。
<p>【到達目標】</p> <p>【生物学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な生命活動の学習を通じて、生物の知識や理解を深め、生命活動のしくみやその意義を説明できる。 ・ 生物個体の成り立ちを知り、生命を維持するしくみが個体を構成する器官や組織でどのように働いているかを、特に『恒常性』に焦点を合わせ身につける。 <p>【物理学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の表し方から運動の法則までを学習し、物理学はどのような手法で自然を探求してきたかを関連づけることができる。 ・ニュートン力学確立するまでの歴史をたどり、日常経験と物理学の考え方の融合を目指すことができる。 ・力学は物理学の基礎となる分野なので、一つ一つの学習項目をしっかりと理解できるよう目指すことができる。

授業計画・内容		
1回目	体内環境について説明することができる。	
2回目	酸素と二酸化炭素の運搬について説明することができる。	
3回目	生体防御について説明することができる。	
4回目	腎臓と肝臓の構造と働きについて説明することができる。	
5回目	刺激の受容と反応について説明することができる。	
6回目	神経による調節について説明することができる。	
7回目	ホルモンによる調節について説明することができる。	
8回目	自律神経系と内分泌系の協調について説明することができる。	
9回目	運動観測はどのようにおこない、どのように表したらよいかを説明することができる。	
10回目	等加速運動について公式とその演習 さらにグラフの見方を説明することができる。	
11回目	物体に働く力の表し方について説明することができる。	
12回目	物体が静止するための条件を考える。摩擦力、浮力について説明することができる。	
13回目	大きさが無視できない物体に力が働く場合、どのように扱ったらよいかを説明することができる。	
14回目	力が働くくと運動状態が変化する事を式で表現するとどうなるかを説明することができる。	
15回目	運動の法則から落下運動の見方を確認するとともに等加速度運動の復習。	
16回目	試験解説	
準備学習 時間外学習	単元を一つ一つ復習し、分からないところは次回に質問できるようにしましょう。 物理の法則をしようするにあたり、数学の知識が必要とされます。分数や二次関数等で分からない数学は、講義時間以外を用いて使用できるようにしましょう。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	生物学では、私たちの体内の器官や組織で行なわれている生命活動を学びます。特に恒常性の分野は、国家資格の取得に関係する科目を学ぶための基礎・基本となり、これからの専門科目を学ぶ上で理解を深めることとなります。専門職の技能を高めるためにも必要な基礎科目として、生物学の学習に取り組むことが大切です。 物理の法則は数学を使って表現されるため、数量計算や硬式が多く出現する。一つ一つの法則や考え方をしっかりと理解し、演習によって理解度を確認しながら学習をすすめることが大切である。	
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>「視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録」 鈴木孝仁 監修 数研出版 PT・OTゼロからの物理学 羊土社</p>		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	保健体育 (Health and Physical Education)	必修選択	必須	年次	1年	担当教員	岩田 清志
学科	理学療法科	授業形態	実習	総時間	45	開講区分	通年
コース	昼間部(Ⅰ部)			(単位)	1	曜日・時限	

【授業の学習内容】

スポーツに伴う身体の変化、障害の発生、予防について学びます。理学療法士養成校にて運動学の講義を担当。
【実務経験】2000年より理学療法士として総合病院にて整形疾患、中枢疾患の患者様を中心に徒手療法を行ってきた。また理学療法士養成校にて運動学の講義を担当。

【到達目標】

1. スポーツ理学療法とはなにか、スポーツ現場で働く講師の先生から技術・知識を習得する。
2. チームスポーツを通してチーム医療につながるコミュニケーション能力を養う。

授業計画・内容

1回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、身体機能について実地
2回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、身体機能について実地
3回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、テーピング効果について(捻挫に対するテーピングの巻き方)
4回目	膝関節、靭帯損傷に対するテーピングの巻き方、トレーニングの仕方
5回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、テーピング効果について
6回目	肩関節、肩周囲筋の損傷に対するテーピングの巻き方、トレーニングの仕方
7回目	チームスポーツについて
8回目	チームスポーツについて
9回目	チームスポーツについて
10回目	肘関節の損傷に対するテーピングの巻き方、トレーニングの仕方。手関節、指(つきゆび)に対するテーピングの巻き方
11回目	マシーントレーニングの使い方と効果
12回目	マシーントレーニングの使い方と効果
13回目	ストレッチボールの使い方と効果について
14回目	障がい者スポーツについて
15回目	障がい者スポーツについて
16回目	障がい者スポーツについて
17回目	障がい者スポーツについて
18回目	障がい者スポーツについて
19回目	障がい者スポーツについて
20回目	チームスポーツについて
21回目	チームスポーツについて
22回目	チームスポーツについて
23回目	チームスポーツについて

準備学習時間外学習 準備運動を怠らず、自己管理をしっかりしましょう。

評価方法	レポート(60%)授業態度(40%)	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	--------------------	---

受講生へのメッセージ 怪我がないように取り組んで下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

体育が出来る服装、館内シューズの用意(Tシャツ、短パン)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	人間関係論 (Human relations)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	羽角 千弥子
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜1限

【授業の学習内容】

人は一生に多くの人間とめぐり合い、相互に影響を与えながら人間関係を形成し成長する。人間関係はコミュニケーションに影響し、同時にコミュニケーションは人間関係に影響する。つまり、人間関係とコミュニケーションとは相互に密接な関係にある。コミュニケーションのありよう次第で人間関係は建設的にも破壊的にもなる。したがって、対人援助職を目指すものは、円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションとは何かを知り、他者への働きかけに際しての基礎的なコミュニケーション技術の習得が求められる。本授業では、人間関係とコミュニケーションの基本概念や相互の関連性、人間関係を円滑にしたり阻害したりするコミュニケーションの諸相について基本原則を学ぶ。その上で、カウンセリング面接の立場から他者への適切な働きかけの基本となるコミュニケーション技法を体験・学習し、様々な場面で人と関わるための基礎を実施します。また、コミュニケーションの手法だけでなく職業人として人間関係構築が出来る方法を学ぶ。

※実務者経験：1987年短期大学 経営学科を卒業、1995年よりプロ司会者としてデビュー後さまざまな企業や大学においてコミュニケーション講座やマナー研修、新人社員研修を行う。

【到達目標】

1. コミュニケーションとは何かを体系的に理解し、より質の高いスキルを身につける。
2. 人の心に寄り添うとはどういうことかを理解し、身につける。
3. 社会人・医療人としての資質を身につける。
4. コミュニケーションスキルがチーム医療の実践に必要なことを理解し、身につける。

授業計画・内容

1回目	コミュニケーションについて説明することができる。	
2回目	人の話の聴き方・質問力について説明することができる。	
3回目	話し方、伝え方／話の構成の仕方について説明することができる。	
4回目	グループディスカッションの進め方を知り実施することができる。	
5回目	ビジネスマナーの必要性について説明することができる。	
6回目	挨拶について説明することができる。	
7回目	正しいことば遣いについて説明することができる。	
8回目	電話対応の基本について説明することができる。	
9回目	訪問・対応マナーについて説明することができる。	
10回目	訪問・対応マナーについて説明することができる。	
11回目	実習後のお礼状の書き方①を準備することができる。	
12回目	実習後のお礼状の書き方②を準備することができる。	
13回目	将来を描き、夢を叶える考え方について説明することができる。	
14回目	講義で学んだスキルを実施することができる。	
15回目	PT/OTにとって必要なヒューマンスキルについて説明することができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	日頃からの言葉遣いやマナーに活かせるように復習してください。	
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(50%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格</small>	社会人として必要な礼儀やマナーについて学びます。
受講生へのメッセージ	医療分野では、様々な場面でコミュニケーション能力が求められています。医療コミュニケーションとは、医療従事者相互・医療従事者と患者・患者相互における医学・医療分野に関係した情報のやり取りを意味しています。医療の高度化と専門化が進む中、複数の専門職が組織的に取り組む「チーム医療」の重要性が叫ばれリハビリテーション分野においても関連職種による「総合リハビリテーション」の実践が求められています。これらを実践していくには専門職間の情報共有と連携が不可欠であるので、これらに対応できる。基本的には方法論を学びます。	
【使用教科書・教材・参考書】	コミュニケーションスキルアップ検定	

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 I (Anatomical physiology I)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	神山 卓也
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間 I 部			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜 1限

【授業の学習内容】

- ・ 人体の構造を筋骨格系、靭帯、関節について述べます。
- ・ 人体の構成、骨の形態、構造、リモデイング、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨、頭蓋の連結、上下肢の連結、筋組織の種類と特徴について習得する。
- ・ 第1章および第7章

※実務者経験:1989年理学療法士免許取得し一般病院に勤務。1998年あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師取得。その後、回復期病院等に勤務。2011年より一社ひがし治療院開院。現在は、治療院、クリニック3カ所、国立病院機構東名古屋病院付属リハビリテーション学院にて勤務している

【到達目標】

- ・ 人体の成り立ちや完成された形態や構造について、肉眼的にまた、顕微鏡を用いることにより、理解を深めることができる。
- ・ 人体の正常な構造を学ぶことにより、各種疾患の有無を鑑別することができる。
- ・ 該当分野の国家試験問題についても頻出事項を確認し、正答を導き出すことができる。

授業計画・内容

1回目	人体解剖学について説明することができる。	
2回目	人体の構成①について説明することができる。	
3回目	人体の構成② 発生について説明することができる。	
4回目	骨の形態、構造、リモデイングについて説明することができる。	
5回目	脊柱、胸郭について説明することができる。	
6回目	上肢骨について説明することができる。	
7回目	下肢骨について説明することができる。	
8回目	頭蓋の連結について説明することができる。	
9回目	上下肢の連結について説明することができる。	
10回目	筋組織の種類と特徴について説明することができる。	
11回目	上肢帯の筋について説明することができる。	
12回目	上肢帯の筋について説明することができる。	
13回目	下肢帯の筋について説明することができる。	
14回目	頭頸部の筋について説明することができる。	
15回目	総復習し試験準備をすることができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格</small>	人体の構造を筋・骨格系、内臓系について学びます。
受講生へのメッセージ	正常な人体の成り立ちや、完成された形態や構造を学ぶ解剖生理学 I は理学療法士、作業療法士としての臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。	
【使用教科書・教材・参考書】		
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅱ (Anatomical physiology Ⅱ)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	斎藤 研
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部	授業形態	講義	(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ・解剖生理学Ⅱでは栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働き、血液の循環とその調整についての構造について習得する。
- ・第2章～4章の構造について
- ※実務者経験：1984年中学校・高等学校教員免許取得。1995年医師免許取得し内科医として勤務する。

【到達目標】

解剖生理学Ⅱでは人体の構造(消化器・呼吸器・循環)について理解し、説明することができる。

授業計画・内容

1回目			2
2回目	腹部消化器管について説明することができる。		
3回目	腹部消化器管について説明することができる。		
4回目	腹部消化器管について説明することができる。		
5回目	膵臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。		
6回目	膵臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。		
7回目	膵臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。		
8回目	血液の組成について説明することができる。		
9回目	呼吸器の構造について説明することができる。		
10回目	呼吸器の構造について説明することができる。		
11回目	心臓の構造について説明することができる。		
12回目	心臓の構造について説明することができる。		
13回目	末梢循環器系の構造について説明することができる。		
14回目	末梢循環器系の構造について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	人体の呼吸器・循環器・消化器の構造などから学びます。
受講生へのメッセージ			

【使用教科書・教材・参考書】

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅲ (Anatomical physiology Ⅲ)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	斎藤 研
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部	授業形態	講義	(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ・解剖生理学Ⅲでは泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応・生殖器の構造について習得する。
- ・第5章～10章の構造について(7章を除く)
- ※実務者経験：1984年中学校・高等学校教員免許取得。1995年医師免許取得し内科医として勤務する。

【到達目標】

解剖生理学Ⅲでは泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応・生殖器の構造について理解し、説明することができる。

授業計画・内容

1回目	腎臓の構造について説明することができる。	
2回目	排尿路の構造について説明することができる。	
3回目	自律神経の構造について説明することができる。	
4回目	膵臓・副腎・性腺の構造について説明することができる。	
5回目	膵臓・副腎・性腺の構造について説明することができる。	
6回目	脊髄の構造について説明することができる。	
7回目	脊髄の構造について説明することができる。	
8回目	脳の構造について説明することができる。	
9回目	脳の構造について説明することができる。	
10回目	伝導路の構造について説明することができる。	
11回目	伝導路の構造について説明することができる。	
12回目	眼の構造について説明することができる。	
13回目	耳・聴覚・平衡覚・味覚器の構造について説明することができる。	
14回目	味覚器の構造について説明することができる。	
15回目	生殖器の構造について説明することができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</small>	人体の構造を泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応生殖器について学びます。
受講生へのメッセージ	正常な人体の成り立ちや、完成された形態や構造を学ぶ解剖学は理学療法士、作業療法士としての臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。	
【使用教科書・教材・参考書】		
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅳ (Anatomical physiology Ⅳ)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

①内分泌系について習得する。
 ②免疫系について習得する。
 ③神経系について習得する。
 ④生殖系について習得する。
 ※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・解剖生理学Ⅳは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Ⅳでは、内分泌系、免疫系、神経系、生殖器系を学び、大まかな機能の説明ができる。

授業計画・内容

1回目	自律神経とホルモンについて説明することができる。
2回目	下垂体・甲状腺のホルモンについて説明することができる。
3回目	上皮小体・副腎・膵臓のホルモンについて説明することができる。
4回目	性腺・その他のホルモンについて説明することができる。
5回目	生体の防御機能について説明することができる。
6回目	代謝と体温調節について説明することができる。
7回目	神経の分類、伝導について説明することができる。
8回目	中枢神経の機能について説明することができる。
9回目	末梢神経の機能について説明することができる。
10回目	脳の高次機能について説明することができる。
11回目	伝導路、神経系の障害について説明することができる。
12回目	男性生殖器の機能について説明することができる。
13回目	女性生殖器の機能について説明することができる。
14回目	受精と胎児、成長と老化について説明することができる。
15回目	総復習し試験準備をすることができる。
16回目	試験

準備学習
時間外学習
講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから学びます。
------	---	--	---------------------------------

受講生へのメッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学V (Anatomical physiology V)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部	授業形態	講義	(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ① 細胞について習得する。
- ② 消化器系について習得する。
- ③ 呼吸器系について習得する。
- ④ 血液系について習得する。
- ⑤ 循環器系について習得する。
- ⑥ 泌尿器系について習得する。

※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・解剖生理学Vは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Vでは、生理学の基礎である細胞からはじまり、消化器系、呼吸器系、血液系、循環器系、泌尿器系を学び、大まかな機能の説明ができる。

授業計画・内容

1回目	細胞の機能について説明することができる。	
2回目	ホメオスタシスについて説明することができる。	
3回目	口腔・食道・胃の機能について説明することができる。	
4回目	小腸・大腸の機能について説明することができる。	
5回目	膵臓・肝臓の機能について説明することができる。	
6回目	呼吸器量、ガス交換について説明することができる。	
7回目	呼吸の神経調節、病態生理について説明することができる。	
8回目	血球の種類・機能、貧血について説明することができる。	
9回目	血液凝固、血液型について説明することができる。	
10回目	血液循環、刺激伝導系について説明することができる。	
11回目	心電図、血圧調節について説明することができる。	
12回目	病態生理について説明することができる。	
13回目	腎臓・尿路の機能について説明することができる。	
14回目	体液調節について説明することができる。	
15回目	総復習し試験準備をすることができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから学びます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学VI (Anatomical physiology VI)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	斎藤 研
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ・ 細胞を構成する物質のエネルギーの生成・細胞膜・染色体の機能について習得する。
 - ・ 骨組織の組成・モデリング・骨格筋収縮のメカニズムについて習得する。
 - ・ 解剖生理学で学んだ知識を用い、理学療法士・作業療法士に必要とされるポイントを習得する。
- ※実務者経験：1984年中学校・高等学校教員免許取得。1995年医師免許取得し内科医として勤務する。

【到達目標】

・解剖生理学VIは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学VIでは、細胞の構成するための機能、骨格筋系のメカニズムを学び、大まかな機能の説明ができる。

授業計画・内容

1回目	細胞を構成する物質のエネルギーの生成機能について説明することができる。	
2回目	細胞膜の機能について説明することができる。	
3回目	染色体の機能について説明することができる。	
4回目	骨組織の組成について説明することができる。	
5回目	モデリングについて説明することができる。	
6回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。	
7回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。	
8回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。	
9回目	消化器の機能について説明することができる。	
10回目	呼吸器の機能について説明することができる。	
11回目	循環器の機能について説明することができる。	
12回目	泌尿器の機能について説明することができる。	
13回目	内臓機能について説明することができる。	
14回目	内分泌系の機能について説明することができる。	
15回目	神経系の機能について説明することができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格</small>	人体の機能を筋・骨格系、内臓系について学びます。
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 実習 I (Practical Anatomical physiology I)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	安藤 正和
学科	理学療法科			総時間	45	開講区分	後期
コース	昼間 I 部	授業形態	実習	(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

実習が中心の授業です。特に相手を触診するので、相手を尊重して授業に臨んでください。テキストに沿って進めます。

(1)身体の解剖学的な部位を触診します。・構成する骨、筋、脈管、神経(2)その部位を体表に図示します。

※実務者経験:平成5年鍼灸あん摩マッサージ指圧師取得、平成8年より安藤治療院開院。平成21年4月より理学療法士として稲熊病院の非常勤勤務、平成23年より伊勢志摩リハビリテーション専門学校非常勤講師、平成25年よりやまだ整形外科・リハビリクリニックリハビリテーション科顧問を兼務しつつ体表解剖学研究会講師としてセミナー活動も参加。現在はみかんやま整形外科リハビリテーション科主任として臨床業務に従事。主な対象疾患は、臼蓋形成不全、後側弯変性症、運動器疾患術後、廃用症候群など。

【到達目標】

人体における運動の仕組みの理解を深めるため、身体の解剖学的な構造や特徴を学び、実際の人体で理解を深める。

授業計画・内容

1回目	触診することができるための準備ができる。		
2回目	胸骨・胸郭を触診し描くことができる。		
3回目	鎖骨及び肩甲骨・横隔膜を触診し描くことができる。		
4回目	胸膜と肺・気管を触診し描くことができる。		
5回目	心臓及び心臓の弁・動脈弓と静脈を触診し描くことができる。		
6回目	動脈・骨盤後面および前面を触診し描くことができる。		
7回目	胃・十二指腸・肝臓・脾臓を触診し描くことができる。		
8回目	上肢帯および上腕の筋を触診し描くことができる。		
9回目	上肢帯および上腕の筋を触診し描くことができる。		
10回目	前腕の筋および神経を触診し描くことができる。		
11回目	手部の筋および神経を触診し描くことができる。		
12回目	前期実技試験		
13回目	転子・坐骨結節・上前上後腸骨棘を触診し描くことができる。		
14回目	膝蓋骨・内外側顆・腓骨頭を触診し描くことができる。		
15回目	大殿筋・ハムストリングスを触診し描くことができる。		
16回目	腸脛靭帯・縫工筋・大腿四頭筋を触診し描くことができる。		
17回目	内転筋群およびスカルパ三角を触診し描くことができる。		
18回目	膝窩・下腿三頭筋を触診し描くことができる。		
19回目	足部の骨を触診し描くことができる。		
20回目	足部の骨を触診し描くことができる。		
21回目	頭頸部を触診し描くことができる。		
22回目	顔面周囲を触診することができる。		
23回目	実技試験		
準備学習時間 外学習	実技になります。知識だけではなく触診という技術の習得が必要です。欠席するとその単元が分からなくなるため欠席した場合は情報をクラス内で集めましょう。		
評価方法	実地試験(100%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	解剖学で学んだ人体の構造の知識をもとに、その実際を実習し学びます。
受講生への メッセージ	服装、ペンなど授業に必要なものを持参してください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
解剖学実習サブノート 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 実習Ⅱ (Practical Anatomical physiology Ⅱ)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業形態	実習	総時間	45	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

・呼吸数の測定、血糖値の測定、心電図の記録、血圧の測定などの実習を行う。
 ※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議員就任。
 2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・一人ひとりが測定機器の操作や実技を行うことで、生理機能の能力を測定する習得を行う。さらにデータの分析や実習後のレポート作成を通して、生理学の講義で学んだ知識をより深く理解することができるように実施することができる。

授業計画・内容

1回目	実習ガイダンスの準備をすることができる。
2回目	呼吸数の測定の準備をすることができる。
3回目	呼吸数の測定を実施することができる。
4回目	呼吸数の測定を実施することができる。
5回目	呼吸数の測定を推論することができる。
6回目	血圧・心拍数の測定の準備をすることができる。
7回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
8回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
9回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
10回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
11回目	血圧・心拍数の測定を推論することができる。
12回目	血糖値の測定の準備をすることができる。
13回目	血糖値の測定を実施することができる。
14回目	血糖値の測定を実施することができる。
15回目	血糖値の測定を推論することができる。
16回目	生理機能の測定の準備をすることができる。
17回目	生理機能の測定を実施することができる。
18回目	生理機能の測定を実施することができる。
19回目	生理機能の測定を推論することができる。
20回目	生理機能の測定を推論することができる。
21回目	発表の準備をすることができる。
22回目	発表の準備をすることができる。
23回目	発表を実施することができる。
準備学習時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。PPの作成などは学校PCなどにて作成し発表できるようにしましょう。
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(100%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格</small>
受講生へのメッセージ	生理学で学んだ人の機能の知識をもとに、その実際を実習で学びます。

【使用教科書・教材・参考書】

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	基礎運動学 (Basic Kinesiology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	濱谷 光陽
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30時間	開講区分	前期・後期
コース	昼間部(I 部)			(単位)	2単位	曜日・時限	水曜日・2限

【授業の学習内容】

理学療法の基本となる基礎運動学を理解する為に必要な運動の原則、てこ、関節の形状、筋の構造、運動のしくみ、反射について説明できる。また、呼吸器系、循環器系の構造機能を理解し、運動強度を設定できる。
 中枢神経系疾患である脳卒中・パーキンソン病・運動失調症を中心に障害像を理解するためには脳の機能解剖を理解することは必須である。(知覚・感覚、意識障害、高次脳機能、姿勢制御などの背景・メカニズムを学習する)
 実務経験：昭和62年に免許を取得し、実務者経験は15年で、総合病院(急性期～回復期)に所属する。主業務は、脳血管障害や整形疾患の術後リハビリテーションを行っていた。
 また、老人保健施設など福祉系施設にも所属し、高齢者を取り囲む障害・環境を考慮し、在宅復帰に向けたリハビリテーションを行っていた。教育経験は17年で、「生体の構造と機能」「障害学」などの基礎系科目を担当していた。
 実務経験：2007年理学療法士免許取得、2007～2013年まで回復期病院および老人保健施設、デイケアに勤務し脳血管障害を中心に理学療法を実施。

【到達目標】

解剖学生理学と合わせて、骨格、筋、末梢神経などの身体構造および機能を理解し、説明できる。また、腱反射など運動の基礎である原始的運動を理解し、説明できる。このことにより、1年後期から始まる専門基礎分野(臨床医学系)の異常、専門分野(評価学、関節運動など)の理解がスムーズにいこうできる

授業計画・内容		
1回目	運動学分類、運動原則、てこについて説明できる。	
2回目	滑膜関節の構造機能を説明できる。関節の運動方向について説明できる。	
3回目	骨格筋の形状、構造、収縮メカニズムについて説明できる。	
4回目	筋線維のタイプ分類を説明できる。	
5回目	腱反射、I a抑制、I b抑制について説明できる。	
6回目	運動単位、サイズの原理について説明できる。	
7回目	運動のリクルートメント、神経支配比について説明できる。	
8回目	運動強度を設定できる。	
9回目	脳の機能解剖について	
10回目	大脳機能局在およびCVAについて	
11回目	小脳機能局在および小脳障害について	
12回目	脳幹の機能局在	
13回目	感覚・運動伝導路について	
14回目	腱反射のメカニズムについて	
15回目	筋緊張のメカニズムについて	
16回目	姿勢制御について	
準備学習 時間外学習	人体の構造機能から、「腱反射」のメカニズムなどを学習するので、解剖学・生理学の神経・筋について復習してください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	腱反射やI a抑制は臨床でも使用し、国家試験でも出題されるので、難しいですが、しっかり理解してください。	
【使用教科書・教材・参考書】 医歯薬出版 基礎運動学第6版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	運動学 I (Kinematics I)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩田 清志
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間部 (I 部)	授業形態	講義	(単位)	(2)	曜日・時限	水曜・1限

【授業の学習内容】

運動学とは、ヒトの身体運動の仕組みに関わる学問です。筋骨格系の構造・機能との関係、身体に加わる力との関わり、身体運動の発現とその盛衰機序、運動技能の獲得過程など、身体運動に関する諸問題について、解剖学、生理学、力学、心理学的観点から究明していきます。本講義では基礎運動学を踏まえ、上肢における各関節の運動を理解し、検査測定・治療に結びつけることができるよう学習する。

【実務経験】2000年より理学療法士として総合病院にて整形疾患、中枢疾患の患者様を中心に徒手療法を行ってきた。また理学療法士養成校にて運動学の講義を担当。

【到達目標】

上肢における関節運動学の理解

(目標①) 上肢の各関節の構造を述べるができる

(目標②) 上肢の各関節運動および筋・制限因子について述べるができる

(目標③) 上肢の各関節運動における関節包内運動について述べるができる

授業計画・内容

1回目	身体運動学について運動力学と運動学の違いを説明できる	
2回目	身体運動学について運動力学と運動学の違いを説明できる	
3回目	関節の構造と種類について説明できる	
4回目	肩甲帯の構造について説明できる	
5回目	肩甲帯の運動について説明できる	
6回目	肩甲上腕関節の構造について説明できる	
7回目	肩甲上腕関節の運動について説明できる	
8回目	肩甲帯・肩甲上腕関節の複合運動について説明できる	
9回目	肩甲帯・肩甲上腕関節の複合運動について説明できる	
10回目	手関節の構造について説明できる	
11回目	手関節の運動について説明できる	
12回目	手指の構造について説明できる	
13回目	手指の運動について説明できる	
14回目	手関節、手指の疾患について説明できる	
15回目	まとめ	
準備学習 時間外学習	復習しわからないことは、質問できるようにしましょう。	
評価方法	1. 定期試験(70%) 2. 小テスト(20%) 3. 出席(10%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	運動学は理学療法を行う上で核となる科目です。運動療法を行う	
【使用教科書・教材・参考書】	基礎運動学 第6版補訂 (医歯薬出版)	

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	運動学Ⅱ (KinematicsⅡ)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩田 清志
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部(Ⅰ部)	授業形態	演習	(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

運動学とは、ヒトの身体運動の仕組みに関わる学問です。筋骨格系の構造・機能との関係、身体に加わる力との関わり、身体運動の発現とその盛業機序、運動技能の獲得過程など、身体運動に関する諸問題について、解剖学、生理学、力学、心理学的観点から究明していきます。本講義では基礎運動学を踏まえ、下肢における各関節の運動を理解し、検査測定・治療に結びつけることができるよう学習する。

【実務経験】2000年に理学療法士免許取得し、総合病院にて整形疾患、中枢疾患の患者様を中心に徒手療法を行ってきた。また理学療法士養成校にて運動学・運動療法学・臨床評価学・運動器疾患の理学療法などの講義を担当。

【到達目標】

下肢における関節運動学の理解

(目標①) 下肢の各関節の構造を述べるができる

(目標②) 下肢の各関節運動および筋・制限因子について述べるができる

(目標③) 下肢の各関節運動における関節包内運動について述べるができる

授業計画・内容

1回目	この科目の概要を説明できる	
2回目	骨盤帯の構造と運動について説明できる	
3回目	股関節の構造について説明できる	
4回目	股関節の運動について説明できる①	
5回目	股関節の運動について説明できる②	
6回目	膝関節の構造について説明できる①	
7回目	膝関節の構造について説明できる②	
8回目	膝関節の運動について説明できる	
9回目	足関節の構造について説明できる①	
10回目	足関節の構造について説明できる②	
11回目	足関節の運動について説明できる	
12回目	足趾の構造と運動について説明できる	
13回目	足部アーチの構造と機能について説明できる	
14回目	足部の変形について説明できる	
15回目	まとめ	
準備学習 時間外学習	解剖学を基に講義を進めていくので、事前に当該部位の骨学・筋学を復習しておくこと。また、小テストを定期的実施するため、授業の復習を行うこと。	
評価方法	1. 定期試験(70%) 2. 小テスト(20%) 3. 出席(10%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	運動学は理学療法を行う上で核となる科目の一つです。解剖学・生理学とともにきちんと身につけて理学療法評価・治療に結び付けられるように予習・復習していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】	基礎運動学 第6版補訂 (医歯薬出版)	

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	人間発達学 (Human Development)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	塚原 玲子
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間 I 部			(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ・各発達段階ごとに、身体・運動・認知の特徴を学び、標準的な発達過程を習得する。
 - ・発達の評価に用いられる代表的な検査と結果の見かたを習得する。
 - ・各発達段階にみられる疾病・障害を習得する。
- ※実務者経験：1976年教育学部卒業後、愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所に所属、1996年には医学博士を取得する。

【到達目標】

・人間発達学では、生命の発生から死に至るまで、生涯にわたる人間の変化を発達プロセスとしてとらえる。授業で学んでいくのは、身体諸器官の形態と機能の変化、認知神経学的変化、さらに社会的存在の側面を含む。学習の結果、人間は生涯発達してゆく存在であり、しかも個々人の発達の過程はそれぞれ個性的であるという視点を、リハビリテーションの実践の基盤として持つことを知ることができる。

授業計画・内容

1回目	発達の見かたについて説明することができる。	
2回目	胎児期・新生児期の発達について説明することができる。	
3回目	乳児期の発達について説明することができる。	
4回目	幼児期の発達について説明することができる。	
5回目	学童期の発達について説明することができる。	
6回目	青年期の発達について説明することができる。	
7回目	成人期の発達について説明することができる。	
8回目	老年期の発達について説明することができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</small>	ヒトの心身のはたらきを、成長過程の特徴に注目して学びます。
受講生へのメッセージ	人間発達学では、生命の発生から死に至るまで、生涯にわたる人間の変化を発達プロセスとしてとらえ、リハビリテーションの実践の基盤として持つことを知ることができ治療へとつなげてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
人間発達学 (コメディカルのための専門基礎分野テキスト) 中外医学社		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	老年学 (Gerontology)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間部(I 部)			(単位)	1	曜日・時限	

【授業の学習内容】

年齢を重ねる中で身体機能面ばかりでなく、精神面も環境の変化の中で変化していくことを学ぶ。解剖学的な解釈も踏まえ、その上でどうPTとして関わっていきけるのかを考える。また最近、社会問題として高齢者の交通事故や逆に高齢者の生きがいなど考える。さらに予防的な視点で医療者として、リハビリテーションの中でどのように理学療法士の知識と専門性発揮するのかを説明できるようにする。

【業績】1990年4月総合病院勤務後、在宅医療までの理学療法に携わることで急性期から維持期生活期までPTとして経験する。

【到達目標】

高齢者の特性や疾患から身体機能面、精神機能的変化を解剖学、生理学的に説明できる。予防の視点でも近年包括ケアシステムの中でどうかかわっていくかを学ぶ。また医療人として退行していく年代にどう向き合えばよいのかを学ぶ。

授業計画・内容

1回目	理学療法と老年学の関わり。老化・高齢者の定義と人口動態について理解できる	
2回目	加齢に伴う変化(生理機能面)を理解できる	
3回目	加齢に伴う変化(身体・精神機能面)を理解できる	
4回目	老年症候群について理解できる	
5回目	フレイル サルコペニアについて理解できる	
6回目	転倒・歩行 と サルコペニアの関係について理解できる	
7回目	高齢者の機能評価(身体・精神心理・社会的状況・CGA)について理解できる	
8回目	老化による高齢者の精神疾患の特徴 (認知症・うつ) 嚥下障害などについて理解できる	
9回目	テスト 解説	
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		
準備学習 時間外学習	身体機能の変化においては解剖学的知識が必要です。特に疾患や病態変化など学ぶ上では解剖生理学のテキストで復習をしましょう。	
評価方法	1. 定期試験80(%) 2. 小テスト20(%) 3. レポート提出(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	退行していく高齢者の気持ちに寄り添えることから始まる科目でもあります。自分の周囲にいるお年寄りを思いながら授業に参加急いてもらえると良いでしょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	病理学 (Pathology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間 I 部			(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

・疾患の概念の変遷と病理学について、細胞の微細構造と機能について、循環障害について、炎症について、感染症について免疫機構異常について、遺伝と先天異常についてを習得する。
 ※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・ヒトの疾患を学ぶに際しては、どのようにしてその疾患が生じ、さらになぜ個体に種々の悪い影響を与えているのかという観点からの知識がなければ、疾患の本質的な理解は不可能である。このため、疾患の本質を学ぶ上で、病理学の知識が欠かせないことは言うまでもない。また、最近、出題が増加している状況設定問題に対する基本的知識をも習得する。

授業計画・内容

1回目	疾患の概念の変遷と病理学について説明することができる。	
2回目	細胞の微細構造と機能について説明することができる。	
3回目	組織、細胞の修復と再生について説明することができる。	
4回目	循環障害について説明することができる。	
5回目	炎症について説明することができる。	
6回目	感染症について説明することができる。	
7回目	免疫機構異常について説明することができる。	
8回目	遺伝と先天異常について説明することができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	最近出題が増加している状況です。設定問題に対する基本的知識をも習得してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
系統看護講座 専門分野 疾患の成り立ちと回復の促進 I 病理学 第6版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	外科学 (Surgery)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	渡 賢治
学科	理学療法科			総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間 I 部	授業形態	講義	(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ・機械的,非機械的損傷について、感染性疾患について、腫瘍について、臓器移植について習得する。
 - ・心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)について知識と技術を習得する。
 - ・トリアージについての知識と技術を習得する。
- ※実務者経験:日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会リウマチ認定医。日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医

【到達目標】

- ・医学一般に関する知識の中から、特に外科学における基本的知識および国家試験において繰り返し問われる出題項目について講義を行うことにより、知識を深めることを主眼とする。また、最近、出題が増加している画像診断に関する基本的知識を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	機械的損傷について説明することができる。	
2回目	非機械的損傷について説明することができる。	
3回目	感染性疾患、腫瘍について説明することができる。	
4回目	臓器移植について説明することができる。	
5回目	トリアージについて説明することができる。	
6回目	心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)について説明することができる。	
7回目	トリアージ、心肺蘇生法、ED(自動体外式除細動器)を模倣することができる。	
8回目	トリアージ、心肺蘇生法、ED(自動体外式除細動器)を模倣することができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格</small>	外科学および救急法について学びます。
受講生へのメッセージ	国家試験問題としては出題が少ない分野ではあるが、PT・OTとして、臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。とすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。	
【使用教科書・教材・参考書】	なし	

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	一般臨床医学 (Medical Science Lectures)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	武田 康代・大川真清
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	火曜・3限 金曜・1限

【授業の学習内容】

【 栄養学 】

・なぜリハビリテーションに栄養が必要かリハビリテーション栄養とは何かICFと栄養に関する基礎的な知識を習得する。

・リハビリテーション栄養ケアマネジメントに関する基礎的な知識を習得する。

*実務者経験: 1985年4月～1989年3月まで知的障害者更生施設 管理栄養士。2012年～高齢者サービス・多機能型事業所(生活介護)チーフマネージャー。知的障がい児・者の食生活と運動習慣についてフィールド調査中。

【 公衆衛生学 】

我が国における保健、福祉、医療の現状と問題点を認識するとともに、保健予防に関する基礎的な知識を習得する。

*実務者経験: 2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議員就任。

2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

【 栄養学 】

1. リハビリテーション栄養とは何か説明することができる。

2. リハビリテーション栄養ケアマネジメントについて説明することができる。

【 公衆衛生学 】

1. 医療従事者として必要な予防医学、健康科学、環境問題の概念を説明できる。2. 疫学について説明できる。

授業計画・内容

1回目	リハビリテーション栄養について説明することができる。	
2回目	訓練効果を高める栄養について説明することができる。	
3回目	運動栄養学とリハビリテーションについて説明することができる。	
4回目	リハビリテーション栄養ケアマネジメントについて説明することができる。	
5回目	我が国における保健と福祉について説明することができる。	
6回目	医療の現状と問題点について説明することができる。	
7回目	保健予防に関することができる基礎的な知識について説明することができる。	
8回目	疫学について説明することができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	短時間で情報量が多い授業のため、予習復習をお願い致します。 授業中、聞きなれない言葉や考え方が沢山でてきます。1回毎に理解を深める努力をしてください。	
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(50%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格</small>	栄養学・公衆衛生学などについて学びます。
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
PT・OT・STのための リハビリテーション栄養 第3版 基礎からリハ栄養ケアプロセスまで 医歯薬出版株式会社		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	薬理学 (Pharmacology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	河村 達生
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	木曜・4限

【授業の学習内容】

リハビリを受けている患者様は、同時に薬物療法を受けている場合が非常に多く、患者様の全身状態を知ることは重要なことです。本授業では医療現場で実際に広く使われている「くすり」の効果やその働きについて、わかりやすく解説し、その病態と関連づけながら「くすり」の基礎的な知識を習得する。

※実務者経験：1996年に薬学部を卒業し薬剤師免許を取得。製薬会社や調剤薬局等にて勤務したのち会社を設立し薬剤師業務や薬局の経営を行う。また、看護学校にて「薬理学」の講師を行う。

【到達目標】

【薬理学】

1. 用量と薬理作用の関係を説明できる。
2. 薬物の作用機序を説明できる。
3. 各ライフステージにおける薬物動態を説明できる。
4. 薬物の副作用・有害作用を説明できる。
5. 各疾患の薬物療法で使用される薬物の種類作用機序・副作用を説明できる。

授業計画・内容

1回目	薬理学の基礎知識について説明することができる。	
2回目	薬が作用するしくみについて説明することができる。	
3回目	自律神経・アレルギー系作用薬について説明することができる。	
4回目	循環器に作用する薬について説明することができる。	
5回目	呼吸器に作用する薬について説明することができる。	
6回目	消化器に作用する薬について説明することができる。	
7回目	中枢神経系に作用する薬について説明することができる。	
8回目	薬の処方と管理について説明することができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	短時間で情報量が多い授業のため、予習復習をお願い致します。 授業中、聞きなれない言葉や考え方が沢山できます。1回毎に理解を深める努力をしてください。	
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(50%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格</small>	薬理学について学びます。
受講生へのメッセージ	医療現場で実際に広く使われている「くすり」の効果やその働きについて、わかりやすく解説しの病態と関連づけなが「くすり」の基礎的な知識を習得しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
イラストでまなぶ薬理学 第3版 医学書院		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	整形外科学 I (Orthopedics Surgery I)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	神山 卓也
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間 I 部			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜・1限

【授業の学習内容】
 ・整形外科学 I では、整形外科疾患の総論と 整形外科外傷学 スポーツと整形外科について 病態、症状、診断、治療、予後の概要をリハビリテーションを含め習得していく。病気がみえる〈vol.11〉運動器・整形外科 MEDIC MEDIA: 目次P.2～ 95、P.96～109、P.146～1621、P.210～241、P.300～457
 ※実務者経験:1989年理学療法士免許取得し一般病院に勤務。1998年あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゆう師取得。その後、回復期病院等に勤務。2011年より一社ひがし治療院開院。現在は、治療院、クリニック3カ所、国立病院機構東名古屋病院付属リハビリテーション学院にて勤務している

【到達目標】
 ・整形外科的疾患(骨腫瘍、脊柱管狭窄症と分離症、側弯症、リウマチ性疾患、慢性関節疾患、骨系統疾患、代謝性骨疾患、感染性疾患)について説明することができる。

授業計画・内容		
1回目	整形外科総論と運動器の外観について説明することができる。	
2回目	運動器の生理について説明することができる。	
3回目	診察と症候について説明することができる。	
4回目	検査と治療について説明することができる。	
5回目	脊柱管狭窄症と分離症、側弯症について説明することができる。	
6回目	骨腫瘍について説明することができる。	
7回目	骨腫瘍について説明することができる。	
8回目	リウマチ性疾患について説明することができる。	
9回目	リウマチ性疾患について説明することができる。	
10回目	慢性関節疾患について説明することができる。	
11回目	慢性関節疾患について説明することができる。	
12回目	骨系統疾患について説明することができる。	
13回目	代謝性骨疾患について説明することができる。	
14回目	感染性疾患について説明することができる。	
15回目	総復習し試験準備をすることができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	確認プリントを作成し自己学習に使用してください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</small>	整形外科的疾患の病態・診断・治療について学びます。
受講生へのメッセージ	各講義にて配布する確認プリントを使用して、試験対策を行ってください。	
【使用教科書・教材・参考書】 病気がみえる〈vol.11〉運動器・整形外科 MEDIC MEDIA		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	脳神経内科学 I (Neurology I)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	後藤 桂
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間 I 部	授業形態	講義	(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】
 ・神経疾患の臨床で重要なことは、病巣部位の診断と発症形式と問診から疾患を鑑別することである。病巣部位の診断には解剖学の知識が必要であり、神経系の病態を理解するためには神経生理学の知識が必要になる。この講義では、神経疾患の疾患概念、症状、症候と診察所見、臨床診断、検査所見、治療の概略、予後予測についての基本的知識を習得する。
 ※実務者経験：関西医療技術専門学校卒業後、箕面市立病院リハビリテーションセンターに勤務し、白鳳女子短期大学に着任し、現在星田南病院に勤務している。

【到達目標】
 ・神経系(中枢神経と末梢神経)の解剖と生理機能、神経学的診断(意識、高次脳機能、脳神経、運動機能、反射、感覚、歩行、姿勢など)と障害の評価法、検査法(画像診断、電気生理学的検査など)、症候(意識障害、運動麻痺、錐体外路徴候、運動失調、感覚障害、失語、失認、失行、認知症、構音障害、嚥下障害、脳神経外科領域の症候)について説明でき、不随意運動などの症候を模倣できる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーションを実施する。
2回目	脳の構造及び分類を理解し説明することができる。
3回目	脳神経が理解できる。
4回目	脳神経を理解し説明することができる。
5回目	脳神経を理解し説明することができる。
6回目	大脳基底核、辺縁系、小脳失調が理解できる。
7回目	大脳基底核、辺縁系、小脳失調を理解し説明することができる。
8回目	腱反射、運動路、病的反射を理解し説明することができる。
9回目	感覚系について理解し説明することができる。
10回目	自律神経、球麻痺について理解し説明することができる。
11回目	死の三徴、肩手症候群について理解し説明することができる。
12回目	発表の準備をすることができる。
13回目	発表の準備をすることができる。
14回目	発表することができる。
15回目	発表することができる。
16回目	試験

**準備学習
時間外学習**
 新しい言葉が出てきます。1つ1つその日のうちに復習し、次回受講してください。また、グループで連携して行う課題は、自分の成果かがグループの成果になります。グループでお互い補い合いながらすすめて下さい。

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	神経内科的疾患の病態・診断・治療について学びます。
-------------	---	---	---------------------------

受講生へのメッセージ

【使用教科書・教材・参考書】
 病気がみえる〈vol.7〉脳・神経 MEDIC MEDIA

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	精神医学 (Psychiatry)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 剛
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間 I 部	授業形態	講義	(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

・総論では精神症候学について講義し、知覚、思考、感情の障害といった用語の定義を理解する事や精神科領域における評価や治療の理解を目的とする。各論では統合失調症、気分障害、認知症、神経症性障害・不安障害、器質・症状精神病、各種依存症、摂食障害、老年期の精神障害等について、それぞれ疾患の定義、診断基準、症状と経過について解説し、治療法までを習得する。

・児童・青年期分野に関しては各ライフステージにおける精神的発達の特徴を解説し、発達障害を中心に解説を行う。内容は理学療法、作業療法士国家試験レベル程度に加え、卒業後の臨床場面で役立つ知識を習得する。

※実務者経験：1992年に作業療法士の資格を取得。1992～1998年まで成増厚生病院、1998～2001年まで笠寺精治療病院にて勤務。2001年～現在、専門学校愛知医療学院を経て愛知医療学院短期大学において精神障害領域の作業療法科目をを中心に授業担当している。

【到達目標】

・精神医学の基本症状、精神疾患の分類と各疾患の概要を理解できる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーションを実施する。	
2回目	器質性精神障害について理解し説明することができる。	
3回目	精神作用物質について理解し説明することができる。	
4回目	統合失調症について理解し説明することができる。	
5回目	統合失調症について理解し説明することができる。	
6回目	統合失調症について理解し説明することができる。	
7回目	気分障害について理解し説明することができる。	
8回目	気分障害について理解し説明することができる。	
9回目	気分障害について理解し説明することができる。	
10回目	気分障害について理解し説明することができる。	
11回目	神経症性障害について理解し説明することができる。	
12回目	パーソナリティ障害について理解し説明することができる。	
13回目	児童・青年期の精神障害について理解し説明することができる。	
14回目	高齢者と精神医学について理解し説明することができる。	
15回目	1～14を総復習し試験準備をすることができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	新しい言葉が出てきます。1つ1つその日のうちに復習し、次回受講してください。特に理学療法科は専門科目に直結する内容です。予習をして取り組んでください	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～70点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</small>	精神疾患の病態・診断・治療について学びます。
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 精神神経疾患ビジュアルブック 学研		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床心理学 (Clinical Psychology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	山田 明彦
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	火曜・4限

【授業の学習内容】

臨床心理学は対人援助をする上での基本的な対応やコミュニケーションにおいて基盤となる知識を理解するための学問である。本授業では本授業では人乳児期から老年期までの心の発達や心理検査の理論を説明できるようになる。

【到達目標】

臨床心理学の基本的な知識と方法論を修得する。対人援助職ならではのコミュニケーションについて学び、患者との関わりをグループワーク形式で学ぶ。

<具体的な目標>

目標①人の精神的発達を説明できる。目標②心理検査の概要を説明できる。

授業計画・内容

1回目	乳児期・幼年期について説明できる。	
2回目	児童期について説明できる。	
3回目	思春期について説明できる。	
4回目	青年期について説明できる。	
5回目	成人期・老年期について説明できる。	
6回目	心理アセスメントについて説明できる。	
7回目	知能検査・発達検査について説明できる。	
8回目	投影法について説明できる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	単元が進むと復習テストを行うので、その際の復習は必要です。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生へのメッセージ	臨床現場で生かすことのできる臨床心理の理論や心理検査、心理法の基礎について学びます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
心とかかわる臨床心理 基礎・実際・方法 ナカニシヤ出版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	画像診断学 (Clinical Imaging)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	渡 賢治・本村 清二
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間 I 部			(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ・画像診断について習得する。
- ・X線、CT、MRIの仕組みと、画像の読影を学び、診断や評価の一助にする知識を習得する。

※実務者経験：日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会リウマチ認定医。日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医。
 ※実務者経験：急性期、回復期、維持期の各病院および老健施設、特養施設、デイケア、訪問リハビリテーションなどにて脳卒中患者の指導に従事する。また奈良県社協主催の介護職等への脳卒中研修講師も継続して行っている。

【到達目標】

- ・最近、出題が増加している画像診断に関する基本的知識を説明することができる。

授業計画・内容			
1回目	画像読影に必要な基本的知識について説明することができる。		
2回目	頭部の画像診断について説明することができる。		
3回目	頭部の画像診断について説明することができる。		
4回目	胸部、内臓などの画像診断について説明することができる。		
5回目	胸部、内臓などの画像診断について説明することができる。		
6回目	運動器(骨、関節)などの画像診断について説明することができる。		
7回目	運動器(骨、関節)などの画像診断について説明することができる。		
8回目	画像診断にすることができる国家試験問題の考察について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習			
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	画像診断学について学びます。
受講生へのメッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 第3版 医歯薬出版株式会社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	医学概論 (Introduction to Medical Science)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	昼間 I 部			(単位)	(1)	曜日・時限	月曜 5限

【授業の学習内容】

・リハビリテーション分野だけでなく、医学および医療に携わる専門職として、医の本質や医の倫理について理解を深め、幅広い視野をもった医療従事者としての基礎知識や倫理観を身につける。
 ※実務者経験: 2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

- ・医学の目指すものは何かを考え、生命の尊厳性、神秘性を実感し説明することができる。
- ・健康がどのようにして障害され、どうしたら予防や回復が図れるか、理解し説明することができる。
- ・医療の本質を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	細胞と生命、遺伝と体質について理解し説明することができる。	
2回目	がんへの対応について理解し説明することができる。	
3回目	病原微生物と感染症について理解し説明することができる。	
4回目	生体防御について理解し説明することができる。	
5回目	生活習慣と疾患について理解し説明することができる。	
6回目	生活環境と健康障害について理解し説明することができる。	
7回目	臓器機能低下について理解し説明することができる。	
8回目	総復習し試験準備をすることができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生へのメッセージ	医学とは何か、歴史や近年の動向について学びます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論 改訂6版 中外医学社		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	リハビリテーション医学 (Rehabilitation Medicine)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	理学療法科・作業療法科教員
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	昼間部(I 部)			(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

・リハビリテーション理念と障害を習得する。
 ・リハビリテーション医学の対象となる疾患は、中枢神経疾患、末梢神経疾患、脳性麻痺などの小児疾患、筋ジストロフィーなどの神経筋疾患、脊髄損傷、慢性関節リウマチなどの骨関節疾患、切断、呼吸循環器疾患、疼痛性疾患などである。これらのうち主要疾患について、病態、症状、診断、予後およびリハビリテーションの治療手段の概要を習得する。

【到達目標】

・リハビリテーションに関わるセラピストとしてのアイデンティティを確立できるようになる為に、リハビリテーションの歴史、理念、制度、現状を学び、リハビリテーション医学の考え方や、現状をより深く理解し説明することができる。
 ・治療医学とは視点の異なるリハビリテーション医学的な考え方、評価、治療等を説明できる。

授業計画・内容

1回目	リハビリテーション医学・医療の成り立ちと発展について説明することができる。	
2回目	リハビリテーションの理念と障害学について説明することができる。	
3回目	急性期・回復期・維持期について説明することができる。	
4回目	介護保険制度について説明することができる。	
5回目	支援法制度について説明することができる。	
6回目	リハビリテーション工学の概要について説明することができる。	
7回目	リハビリテーション診療の手順について説明することができる。	
8回目	障害者心理と障害受容について説明することができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	理学療法についての理解をしておいてください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</small>	リハビリテーションとは何か、歴史や考え方、近年の動向について学びます。
受講生へのメッセージ	リハビリテーションの概念にもとづいて、理学療法士は仕事をするので、リハビリテーションについての考え方を理解してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
新版 リハビリテーション医学 第3版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	チーム医療論 (Interprofessional Care)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	昼間部(I 部)			(単位)	1	曜日・時限	金曜 1限

【授業の学習内容】

多職種との関わりの上ではコミュニケーションスキルが重要になる。実際に患者さんと接する事を想定しながら医療者の心構えを習得する。様々な職種が理学療法士と関わり、リハビリテーションの中でそれぞれどのように専門性を発揮するのかを説明できるようにする。

【業績】1990年4月総合病院勤務後、在宅までの臨床に携わり、急性期から維持期生活期までPTとして経験する。

【到達目標】

医療従事者としてリハビリテーションの中の理学療法を学び、多職種の仕事を習得する。また連携とはどういうものか、なぜ連携が必要なのかなどの基礎を学び説明できる。

授業計画・内容

1回目	コミュニケーションの重要性が理解できる	
2回目	言語聴覚士との関わりが理解できる	
3回目	歯科衛生士との関わりが理解できる	
4回目	看護師との関わりが理解できる	
5回目	MSW との関わりが理解できる	
6回目	ケアマネージャーとの関わりが理解できる	
7回目	作業療法士との関わりが理解できる	
8回目	地域包括ケアシステムにおける理学療法士の関わりを理解できる。	
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		
準備学習 時間外学習	復習としてレポートでまとめ、提出する。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート提出 70 (%) 4. 課題成果 30 (%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	自分が実習、臨床に出た時を考え他職種の職域を理解してほしい。	
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料		

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	理学療法概論 (Introduction to Physical Therapy)	必修選択	必須	年次	1年	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間部(Ⅰ部)			(単位)	2	曜日・時限	火曜 2限

【授業の学習内容】
 理学療法の理念、倫理、歴史を学び、法的位置づけ、実際の方法論などの概要について理解する。また医療人としての理学療法士はどのような人間性が望まれるのか、実習実技での基本的事項を学ぶ。医学的リハビリテーションの中での役割を理解し、リハビリテーションに関する他の職種、職域を理解しリハビリテーションチーム医療で取り組む運営方法、また理学療法士として果たす役割について学修する。理学療法の対象となる「障害」についてWHOによる分類であるICFを理解し、理学療法士を目指す者としてどのような能力を身に付けなければいけないかを考える。
【業績】1990年4月総合病院勤務後、在宅までの臨床に携わり、急性期から維持期生活期までの理学療法を経験する。

【到達目標】
 目標① リハビリテーション、理学療法の位置づけと概要が説明できる
 目標② 理学療法の対象となる「障害」について理解し、ICF分類に基づいて障害について説明できる

授業計画・内容	
1回目	科目オリエンテーション 理学療法を知る:ブレインストーミング
2回目	理学療法に関する定義、法律を学ぶ 理学療法と職業倫理について
3回目	福祉用具 車椅子 杖について
4回目	障害体験
5回目	理学療法士の歴史 Physical Medicin & Rehabilitation
6回目	理学療法の役割 手段 理学療法の対象・領域
7回目	理学療法の流れ
8回目	障害を考える ICF ICIDH
9回目	理学療法の対象 骨関節疾患 中枢
10回目	理学療法の対象 内部障害 ガン その他
11回目	医療保険と介護保険制度について
12回目	理学療法と管理について インシデント アクシデント
13回目	感染 手洗いについて
14回目	理学療法とは 発表1
15回目	理学療法とは 発表2
準備学習 時間外学習	予習として教科書を、読んでおく。復習では時講義の中で出てきたわからない単語などを調べる。
評価方法	1. 定期試験(70%) 2. 小テスト(10%) 3. レポート(10%) 4. 発表(10%) <small>評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格</small>
受講生へのメッセージ	必ず各自でノートを用意してください。 課題レポート、文献抄読レポートを課します。未提出の場合は本試験より減点とします。 また、グループでの発表を最後に行いますので、計画を立て講義外での準備をお願いします。採点対象になります。
【使用教科書・教材・参考書】 PT入門イラストでわかる理学療法概論 (医歯薬出版)	

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	理学療法評価学Ⅰ (Measurement and Evaluation in Physical Therapy I)	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	鈴木 和行
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部(Ⅰ部)	授業形態	講義	(単位)	2	曜日・時限	水曜日・4限

【授業の学習内容】
 臨床実習Ⅱ(検査・測定実習)以降の実習において、症例様の関節可動域を測定する技術は必須となります。その技術習得のために計測方法の知識習得を第一として関節可動域の基本軸、移動軸、参考可動域などを説明できるように学習します。
 *実務者経験:平成18年4月～平成27年2月まで医療法人寿光会 寿光会中央病院にてリハビリテーション科主任として勤務。平成23年度～平成27年度まで30名の実習生を指導。脳血管リハビリテーション、運動器リハビリテーション、腎臓リハビリテーション、訪問リハビリテーションなどに従事する。

【到達目標】
 臨床実習Ⅱ(検査・測定実習)以降の実習において、症例様の四肢に触れ関節可動域を測定する技術を身につけます。そのための、角度計の使用法や基本軸、移動軸などの知識を説明できるようになることが必要です。
 <具体的な目標>
 目標①関節可動域の測定に必要な基本軸、移動軸、参考可動域を説明できる。目標②実際の四肢に角度計を当て数値を読むことができる。

授業計画・内容

1回目	関節可動域測定について理解できる
2回目	肩関節の可動域について理解できる(屈曲、伸展、外転、内転)
3回目	肩関節の可動域について理解できる(内旋、外旋、水平屈曲、水平伸展)
4回目	肘関節の可動域について理解できる
5回目	手関節の可動域について理解できる
6回目	母指の関節可動域について理解できる
7回目	指の関節可動域について理解できる
8回目	実技試験
9回目	股関節の可動域について理解できる
10回目	膝関節の可動域について理解できる
11回目	足関節の可動域について理解できる
12回目	足部の可動域について理解できる
13回目	実技試験
14回目	頸部関節可動域を理解できる
15回目	胸腰部関節可動域を理解できる

準備学習
時間外学習
 (目標①)前提:この授業を受けるには、関節可動域表示ならびに測定法を覚えることが必要不可欠です。
 (目標②)さまざまな関節を把持しながら関節可動域最終域を感じるが必要不可欠です。

評価方法	1. 定期試験(80%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(20%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	---	--

受講生へのメッセージ
 魅力:理学療法士が必ず行う評価法の一つです。治療効果を証明するためにも必要な能力になりますので、しっかりと習得しましょう。
 授業計画:実技を見せるとともに模倣させることで自分自身に適した技術となるよう反復していく。

【使用教科書・教材・参考書】 図解理学療法検査・測定ガイド第2版

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	基礎運動療法学 I (Basic Exercise Therapy I)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩田 清志
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部 (I 部)			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜日・3限

【授業の学習内容】
 理学療法の最も大きな柱として運動療法は位置づけられている。解剖学や生理学、運動学、あるいは病理学などを背景に、理学療法士が得意とする分野である。
 運動療法は主に機能障害、すなわち生物医学的な問題にかかわる理論および技術として発展してきた。
 本講義では運動療法の基礎として運動療法の定義や目的、また関節可動域制限や筋機能障害に対する運動療法の種類や手技について取り組んでいく。
【実務経験】2000年に理学療法士免許取得し、総合病院にて整形疾患、中枢疾患の患者様を中心に徒手療法を行ってきた。また理学療法士養成校にて運動学・運動療法学・臨床評価学・運動器疾患の理学療法などの講義を担当。

【到達目標】
 (目標①) 運動療法の定義や目的について述べるができる
 (目標②) 運動療法の実施に必要な基本的原理について述べるができる
 (目標③) 関節可動域制限に対する運動療法の種類と意味を理解し、適切に実施できる
 (目標④) 筋機能障害に対する運動療法の種類と意味を理解し、適切に実施できる

授業計画・内容

1回目	運動療法について概要を説明できる
2回目	関節可動域の制限因子について説明できる
3回目	ストレッチの理論について説明できる
4回目	ストレッチを実践できる
5回目	軟部組織モビライゼーションの理論について説明できる
6回目	軟部組織モビライゼーションを実践できる
7回目	関節モビライゼーションの理論について説明できる
8回目	関節モビライゼーションを実践できる①
9回目	関節モビライゼーションを実践できる②
10回目	筋力増強訓練の原則について説明できる
11回目	Quad Setting ex. 等尺性収縮について実践できる
12回目	徒手抵抗運動を実践できる①
13回目	徒手抵抗運動を実践できる②
14回目	自重を用いた訓練を実践できる
15回目	機器・道具を用いた訓練を実践できる

準備学習
時間外学習
解剖学・生理学・運動学の知識を基に進めていくので、予め復習しておくこと。

評価方法	1. 定期試験(70%) 2. 小テスト(20%) 3. 出席(10%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	---	--

受講生へのメッセージ
 運動療法は理学療法の要となる治療法です。解剖学・生理学・運動学の知識を基に治療手技について実践できるようになりましょう。実技中心の授業のため積極的に取り組むこと。

【使用教科書・教材・参考書】 運動療法学 改訂第2版 (金原出版)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	理学療法学演習 I (Physiotherapeutics Seminar I)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科			総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間部 (I 部)	授業形態	講義	(単位)	(2)		曜日・時限

【授業の学習内容】

理学療法に必要とされる解剖学・生理学・運動学の基本である骨学を理解し、筋肉の起始停止作用神経支配を説明でき、動作の解釈ができるようになる。

実務者経験1990年4月総合病院勤務後、在宅までの臨床に携わり、急性期から維持期生活期までの理学療法を経験する。

【到達目標】

骨の形状、隆起、裂孔などの名称と部位を確認し、説明できる。また、筋肉の起始停止を理解し、筋の走行、筋の触診や作用について説明できるようになる。この講義を基に、次年度に行われる評価学や治療学の理解が深めることができる。

授業計画・内容

1回目	骨学: 肩甲骨・鎖骨の部位名称を説明できる。	
2回目	骨学: 上腕骨の部位名称を説明できる。	
3回目	骨学: 橈骨尺骨手根骨の部位名称を説明できる。	
4回目	骨学: 骨盤の部位名称を説明できる。	
5回目	骨学: 大腿骨の部位名称を説明できる。	
6回目	骨学: 下腿骨足根骨の部位名称を説明できる。	
7回目	骨学: 脊椎の部位名称を説明できる。	
8回目	筋学: 肩甲骨周囲筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
9回目	筋学: 肩関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
10回目	筋学: 肘関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
11回目	筋学: 手関節手指の筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
12回目	筋学: 骨盤周囲筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
13回目	筋学: 股関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
14回目	筋学: 膝関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
15回目	筋学: 足関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。	
準備学習 時間外学習	一度聞いただけでは、理解できないと思います。放課後、空き時間を利用し時間外学習をするように心掛けてください。	
評価方法	1. 定期試験(80%) 2. 小テスト(20%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格
受講生へのメッセージ	骨学・筋学は、とても大切な科目です。覚えることが多いですが、こまめな自己学習を心掛けてください。	

【使用教科書・教材・参考書】

プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論運動器系

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	理学療法学演習Ⅱ (Physiotherapeutics SeminarⅡ)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	濱谷 光陽
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間部(Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

理学療法に必要とされる生理学に用いられる名称を理解し説明することが出来る。
 実務者経験: 昭和62年に免許を取得し、実務者経験は15年で、総合病院(急性期～回復期)に所属する。主業務は、脳血管障害や整形疾患の術後リハビリテーションを行っていた。
 また、老人保健施設など福祉系施設にも所属し、高齢者を取り囲む障害・環境を考慮し、在宅復帰に向けたリハビリテーションを行っていた。教育経験は17年であり、「生体の構造と機能」「障害学」などの基礎系科目を担当していた。

【到達目標】

生理学に用いられている名称用語を理解し、説明することが出来る。また国家試験の生理学分野を解くことが出来る。

授業計画・内容

1回目	細胞の構造と機能
2回目	神経の興奮伝導と末梢神経
3回目	中枢神経
4回目	筋と骨
5回目	感覚
6回目	血液
7回目	心臓と循環
8回目	呼吸とガスに運搬
9回目	尿の生成と排泄
10回目	酸塩基平衡
11回目	消化と吸収
12回目	内分泌
13回目	代謝と体温
14回目	生殖と発生・成長と老化
15回目	運動生理
準備学習 時間外学習	一度聞いただけでは、理解できないと思います。放課後、空き時間を利用し時間外学習をするように心掛けてください。
評価方法	1. 定期試験(80%) 2. 小テスト(20%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) <small>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</small>
受講生へのメッセージ	生理学は、とても大切な科目です。覚えることが多いですが、こまめな自己学習を心掛けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

PT・OT基礎固めヒント式トレーニング 基礎医学編 改定第2版
 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床実習 I (Clinical Practice I)	必修選択	必須	年次	1	担当教員	臨床実習指導者
学科	理学療法科	授業形態	実習	総時間	45	開講区分	前期
コース	昼間部 (I 部)			(単位)	1	曜日・時限	月～金曜・1～4限

【授業の学習内容】
 見学実習と位置付け、学外実習を行います。
 各々学生が配置された病院・施設に向き、臨床勤務している理学療法士の指導にもとづき、病院・施設における理学療法の位置づけや役割を学ぶとともに、病院・施設で理学療法士がリハビリテーションを対象者に提供しているかを見て学ぶ。
 実習期間は、計6 日間(1日:8時間)

【到達目標】
 病院や施設の理学療法の実際を学び、医療人を志す学生に必要な行動を身につける。

授業計画・内容

1回目	<p>1) 職業人としての態度・適正 1-1 時間や約束を守る。 1-2 その場にふさわしい服装や身なりを整える。 1-3 礼儀正しい行動をとる。 1-4 公私を区別する。 1-5 守秘義務を果たす。 2) 対象者および家族の訴えを聞く。 3: 必要に応じて関連職種と連携をとる。 3-1 職員、関係スタッフの役割を説明する。 4: 意欲的に取り組む姿勢(探究心・創造性)を持つ。 4-1 疑問点を列挙する。 4-2 必要に応じて質問する。 4-3 自分の意見を述べる。 2) 記録・報告 7: 記録すべき必要な事項を選択し、記録する。 7-1 選択した必要な事項を記録する。 8: 報告すべき必要な事項を選択し、報告する。 8-1 報告すべき必要な事項を選択する。 8-2 選択した必要な事項を報告する。 3) 管理運営 9: 組織の概要を理解する。 9-1 地域における施設の役割について説明する。 9-2 施設における理学療法士の役割について説明する。 9-3 他職種と理学療法士との関係を説明する。 10: 理学療法の過程を理解する。 10-1 理学療法の制度について理解する。 10-2 指示、記録、診療報酬請求などについて理解する。 11: 管理業務の概要を理解する。 11-1 備品、カルテ、書類など必要な管理業務を説明する。</p>
20回目	

準備学習 時間外学習	医療人、社会人として礼儀・マナーを守り実習に取り組むようにしてください。
---------------	--------------------------------------

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(50%) 4. 課題成果(50%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	臨床実習施設・指導者のもと、実際の理学療法の評価などを体験する。
------	--	---	----------------------------------

受講生へのメッセージ	実習施設は学校と契約を交わし、愛知県に登録された施設で実施します。
------------	-----------------------------------

【使用教科書・教材・参考書】なし

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床実習Ⅱ (Clinical PracticeⅡ)	必修選択	必須	年次	1	担当教員	臨床実習指導者
学科	理学療法科			総時間	45	開講区分	後期
コース	昼間部(Ⅰ部)	授業形態	実習	(単位)	1	曜日・時限	月～金曜・1～4限

【授業の学習内容】

見学実習として位置づけ、各々学生が配置された施設に出向き、学外実習を行います。臨床勤務している理学療法士の指導にもとづき、施設自体の機能やシステム、施設における理学療法の位置づけや役割を学びます。さらに理学療法士が行うリハビリテーションにおける理学療法を学びます。
実習期間は、計6日間(1日:8時間)

【到達目標】

病院や施設の理学療法の実際を学び、医療人を志す学生に必要な行動を身につける。

授業計画・内容

1回目	<p>1)職業人としての態度・適正 1-1 時間や約束を守る。 1-2 その場にふさわしい服装や身なりを整える。 1-3 礼儀正しい行動をとる。 1-4 公私を区別する。 1-5 守秘義務を果たす。 2-1 対象者および家族の訴えを聞く。 3:必要に応じて関連職種と連携をとる。 3-1 職員、関係スタッフの役割を説明する。 4:意欲的に取り組む姿勢(探究心・創造性)を持つ。 4-1 疑問点を列挙する。 4-2 必要に応じて質問する。 4-3 自分の意見を述べる。 2)記録・報告 7:記録すべき必要な事項を選択し、記録する。 7-1 選択した必要な事項を記録する。 8:報告すべき必要な事項を選択し、報告する。 8-1 報告すべき必要な事項を選択する。 8-2 選択した必要な事項を報告する。 3)管理運営 9:組織の概要を理解する。 9-1 地域における施設の役割について説明する。 9-2 施設における理学療法士の役割について説明する。 9-3 他職種と理学療法士との関係を説明する。 10:理学療法の過程を理解する。 10-1 理学療法の制度について理解する。 10-2 指示、記録、診療報酬請求などについて理解する。 11:管理業務の概要を理解する。11-1 備品、カルテ、書類など必要な管理業務を説明する。</p>	
20回目	医療人、社会人として礼儀・マナーを守り実習に取り組むようにしてください。	
準備学習 時間外学習		
評価方法	<p>1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(50%) 4. 課題成果(50%) 5. 実地試験(%)</p> <p style="font-size: small;">評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格</p>	臨床実習施設・指導者のもと、実際の理学療法の評価などを体験する。
受講生へのメッセージ	実習施設は学校と契約を交わし、愛知県に登録された施設で実施します。	

【使用教科書・教材・参考書】なし